札幌市立厚別北中学校 校長 曽田 政人

令和7年度(2025年度)全国学力・学習状況調査の結果について

向寒の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対し御理解と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、今年4月に全国の中学3年生を対象に実施いたしました「全国学力・学習状況調査」の結果については、個人票を8月下旬に配付したところです。また、札幌市としての結果分析については、札幌市のホームページにて掲載されております。

つきましては、本校としましても、全体の結果を全国と比較・分析をしたものを御報告いたします。

なお、公表内容につきましては、札幌市教育委員会の指導に沿ったものとなっておりますので、保護者の皆様の御理解を賜りますよう、お願い申し上げます。

『全国学力・学習状況調査の分析』

【生徒質問紙調査】

全国平均と比較して、肯定的な回答が上回っているものと、下回っているものの一部を 抽出しております。 (◇は全国平均より「肯定的回答が上回っているもの」

◆は全国平均より「肯定的回答が下回っているもの」)

質 問 項 目	回答対象	本校	全国
◆毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。	肯定的回答	75.8%	81.0%
◇学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たり			
どれくらいの時間、勉強をしますか。(学習塾で勉強している	1 時間以上	73. 1%	61 60/
時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを	1 时间以上	/3. 1%	01.0%
活用して学ぶ時間を含む)			
◇読書は好きですか。	肯定的回答	65.6%	61.6%
◇あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って学校の			
プレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができ	肯定的回答	84.4%	76.6%
ると思いますか。			
◆学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深め	肯定的回答	77.5%	Q1 70/ ₋
たり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。	月足切凹合	11. 5%	04. 7 /0
◇学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点	肯定的回答	77. 4%	72 10/
を見直し、次の学習につなげることができていますか。	月足切凹合	11.470	13.4/0
◆授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、	肯定的回答	68.8%	74 8%
生かしたりすることができると思いますか。		00.070	14.070
◇総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理			
して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいま	肯定的回答	83.3%	79.5%
すか。			
◇国語の授業の内容はよく分かりますか。	肯定的回答	81. 2%	77.0%
◇国語の授業で、先生は、あなたの良いところや、前よりもでき	肯定的回答	74.8%	70 2%
るようになったところはどこかを伝えてくれますか。			,
◇数学の授業の内容はよく分かりますか	肯定的回答	71.5%	70.3%
◆数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できてい	肯定的回答	50.0%	57 9%
ますか。			,
◇理科の授業の内容はよく分かりますか。	肯定的回答	83.3%	71.4%
◆理科の授業で学習した知識を普段の生活の中で活用できていま	肯定的回答	44. 7%	54 7%
すか。		17. 770	01.1/0

【国語科】

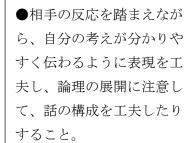
本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

【領域】

- □「言葉の特徴や使い方に関する 事項」の平均正答率
- ・全国平均に比べ、やや上回っている。
- □「話すこと・聞くこと」の平均 正答率
- ・全国平均に比べ、やや上回っている。



○聞き手の反応を踏まえ ながら、相手の受け止め 方や理解の程度を的確に 捉え、分かりやすく伝わ るように表現を工夫して 話す力を育成する。



- □「書くこと」の平均正答率
- ・全国平均に比べ、上回っている。
- □「読むこと」の平均正答率
- ・全国平均に比べ、やや下回っている。

●表現の効果について、根 拠を明確にして考えること や、文章全体と部分との関 係に注意しながら、登場人 物を把握していくこと。 ○表現の効果について、 自分の考えを支える根拠 を確かめながら書いたり 発表したりする活動を充 実させる。その際、登場 人物の把握を的確に行え るようにする。

【数学科】

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

【領域】

- □「数と式」の平均正答率
- ・全国平均に比べ、上回っている。
- □「図形」の平均正答率
- ・全国平均に比べ、上回っている。



・全国平均に比べ、上回っている。

- □「データの活用」の平均正答 率
- ・全国平均に比べ、上回っている。

●ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができること。(例) 平行四辺形 ABCD の辺

(例) 平行四辺形 ABCD の辺 BC, DA を延長した直線上に BE=DF となる点 E, F を取 り、辺 AB と線分 FC の交点 を G、辺 DC と線分 AE の交 点を H としたとき、四角形 AGCH が平行四辺形になる ことを証明すること。

●一次関数 y=ax+b について、変化の割合を基に、xの増加量に対するyの増加量を求めることができること。

(例) 一次関数 y=6x+5 について、x の増加量が2のときの y の増加量を求める。

〇中学2年で扱った証明 問題について、解法の過程を振り返り、導かれた 結論を多面的に考察する 学習を充実させる。



○比例の学習内容を十分 に想起させながら、関数 の概念を深く理解させ、 一次関数の学習へ円滑に 発展させる。問題解決的 な活動を充実させ、数学 的な根拠に基づいて説明 する力を育成する。

【理科】

領域の概要

授業の工夫

【領域】

「エネルギー」を柱とする領域

音の性質を調べるために、条件を変えた実験を計画し、結果を予想・説明する力を育てる。

「粒子」を柱とする領域

化学変化の結果を原子や分子のモデルで考え、実験結果を根拠に分析・解釈する力を養う。

「生命」を柱とする領域

小腸の柔毛・肺の肺胞・根毛のつくりを比べ、共 通点や違いから生物のしくみを多面的に考える。

「地球」を柱とする領域

地層や土地のようすを時間と空間の視点で関連付け、地層の広がりを表現する力を身に付ける。

○観察や実験の結果を分析・解釈する力を育 てるため、実験計画や追加調査を工夫して行 う。

○粒子の動きをイメージできるよう、1人1 台端末を活用して原子・分子モデルを操作 し、試行錯誤できる学習を行う。

○観察・実験の目的や方法、結果の見通しを 明確にし、各単元や領域の知識を関連付けて 総合的に探究する。

○地層や大地の変化を時間的・空間的に捉 え、科学的根拠に基づいて推論・表現する学 習を行う。

